

合同研修を行いました

テーマ「避難所運営での民生委員の役割

～過去に学び未来に備える～

講師：野呂 順正氏（一般社団法人地域防災支援協会事務局長）

令和3年7月29日（木）、なかのZERO大ホールで合同研修を行いました。

講演の内容は、①避難に向けての民生児童委員の活動、②避難所における民生児童委員の役割、③民生児童委員の活動事例・避難所運営経験者の声（ビデオ）などでした。

民生児童委員も地域住民のひとりであり、自らの安全が最優先であること、災害時要援護者の支援は委員だけが担うのではなく地域ぐるみの取り組みが必要であること、災害時に円滑な対応を行うためには平常時の取り組みが重要であること（出典：全国民生委員児童委員連合会「災害に備える民生委員・児童委員活動に関する指針」）などについて説明がありました。また、民生児童委員は、手助けや配慮が必要な方たちに寄り添うこと、いのちとくらしを守ること、頑張り過ぎないこと、できる範囲で協力しあうことを心がけるべきであるとのお話がありました。



民生児童委員の声

- ・災害時の民生児童委員の立ち位置を再確認できました。
- ・被災後、無事であることを示すため、家の玄関付近にタオルを出すことなど、安否確認の方法を決めておくことは大切だと感じました。
- ・災害は、ある日突然やってくることなので備えることの重要性、秩序、ルール作りの必要性を感じました。



100歳以上の方の訪問について

毎年9月、区からの依頼による敬老祝品贈呈のための訪問を行っています。今年も、緊急事態宣言が発令されていたため、残念ながら民生児童委員による訪問を中止しました。（今年も、区より100歳以上の皆さまへ郵送により敬老祝品を贈呈しました）

四者協議会を行いました

「四者」とは、小・中学校の生活指導の先生、杉並児童相談所職員、子ども家庭支援センター職員、民生児童委員です。

令和3年9月6日（月）、13日（月）、四者協議会を行いました。昨年同様、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、中部すこやか福祉センター、南部すこやか福祉センター、沼袋区民活動センター、上鷲宮二丁目集会室の4か所に分かれて行いました。

今年のテーマは「新しい生活様式における学校及び関係機関の連携について」でした。会議では、情報交換および協議が行われ、後日、民生児童委員より次のような意見・感想等が出されました。

- ・学校は、オンライン授業の準備、学校行事の工夫などを各家庭や子どもたちと向き合いながら行っていると感じました。
- ・外出の機会が減り、虐待などの問題が家庭内にこもりがちです。家庭内の子どもに関する問題が見えづらく、関係機関の連携がより重要になっていると思いました。
- ・中学校の先生より「生徒がボランティア活動の再開を望んでおり、地域で生徒が協力できることがあれば、声をかけて欲しい」とのお話がありました。
- ・学校や家庭だけでなく、地域にも子ども食堂など子どもたちにとって安心な場所があります。地域の居場所などよい情報を社会全体で共有することが大事だと思いました。
- ・いつも地域にいるという民生児童委員の強みを生かし、関係機関と連携しながら子どもたちを見守っていきます。

福祉のなかま

No.3 中野区社会福祉協議会

(あんしん生活支援課 生活福祉資金担当)

山田 瑠理子さん(南中野地域担当)



南中野地域担当として、今年で8年目になります。「山田さん!」「るりちゃん!」と温かくお声を掛けていただき、地域の色々な情報やご相談をお寄せいただきながら、日々成長させていただいています。歌うことが好きで、僭越ながら、「はとの会」にもヘルプメンバーとして参加させていただいたのは、とても楽しい経験でした。

非常に私事ながら、先日入籍したこともあり、今後も、民生児童委員のみならずととも、ますますパワーアップして地域福祉にまい進していきたいと思えます。引き続きどうぞよろしくお願いいたします!

※はとの会=中野区民生児童委員協議会のコーラス部



▲はとの会に参加

編集：中野区民生児童委員協議会広報委員会

発行：中野区地域支えあい推進部地域活動推進課民生児童委員担当 電話：03-3228-5582